

平成 21 年度安平町事務事業の温室効果ガス排出量結果 温室効果ガス（二酸化炭素・CO₂）の総排出量に関する目標比較 平成 18 年度基準から温室効果ガス排出量 5.4%削減しました

町では、平成 20 年度に「地球温暖化対策実行計画」を策定し、町の事務・事業に伴い排出する温室効果ガス（CO₂）の排出量を平成 18 年度基準とし、平成 24 年度までに 6%削減することを目標として、職員による地球温暖化防止に向けた取り組みを行っています。

平成 21 年度における温室効果ガス排出量の結果をお知らせします。

平成 18 年度基準年の排出量は、 5,084,374 kg-CO ₂		平成 21 年度基準年の排出量は、 4,809,754 kg-CO ₂	
燃料種別の使用量		燃料種別の使用量	
ガソリン	32,855.0 l	ガソリン	32,606.5 l
軽油	22,321.4 l	軽油	34,432.3 l
灯油	175,486.0 l	灯油	158,082.8 l
A重油	798,276.0 l	A重油	835,580.0 l
LPガス	3,778.0 m ³	LPガス	1,711.1 m ³
電気	4,192,886.0 kWh	電気	3,560,253.3 kWh

☆比較してみましよう☆

全体のCO₂排出量 274,620kg-CO₂の減（-5.4%）



◎ 減少数量と要因

ガソリン
248.5 l の減

公用車（ハイブリッド車）の導入や職員のエコドライブの実施による影響。

灯油
17,402.4 l の減

プールなど冷夏による温水ボイラーの稼働率が上がり増加している施設もありますが、暖房費の節約や施設の民間委託による使用量の減少による影響。

LPガス
2,066.9 l の減

ガスの節約や使用量の減少による影響。

電気
632,649.7 kWh の減

節電による使用電力の減少による影響。

◎ 増加数量と要因

軽油
12,110.9 l の増

降雪や積雪、気温等の気象状況により除雪車や排雪車の稼働時間などの影響がみられます。また、道路維持パトロールやスクールバスなどによる影響。

A重油
37,304.0 l の増

温水プールの開設期間の延長や施設のボイラーの老朽化による燃料消費率が上がったことによる影響。

問 合 せ 住 民 生 活 課 ☎ 2940